

# まなぶ、たのしむ

2021年オンライン開催

第1回：12月19日(日) 14:00-17:00

第2回：12月26日(日) 14:00-17:00

# 南北アメリカの古代文明

—研究成果から学びの場へ—

南北アメリカ大陸には、実にユニークな古代文明の展開がありました。  
未知や謎という言葉で語られることの多かったこの文明は、研究者による発掘調査とさまざまな分析によって日々新しい成果が生まれ、その実像が明らかになりつつあります。  
このシンポジウムでは、一線で活躍する研究者が最新の成果をわかりやすくご紹介すると同時に、食、マンガ、博物館など身近なテーマとの関連もとりあげながら、中学や高校での歴史教育への活用可能性を探ります。



ティカル1号神殿 ©井関陸美



アステカ太陽の石 ©伊藤伸幸



テオティワカン様式の石製面 ©井関陸美



ワカ・パルティエダ遺跡 ©芝田幸一郎

## ■第1回参加登録 12月19日(日) <https://forms.gle/2CdJ4DzexQZYecs86>

1. メソアメリカの古代文化 (井関陸美・明治大学教授)
2. メソアメリカに行って古人骨と語り合ってみた  
—もう一つのマヤ考古学— (鈴木真太郎・岡山大学講師)
3. 〈学習／マンガ〉の可能性 (伊藤遊・京都精華大学国際マンガ研究センター特任准教授)
4. 博物館とメソアメリカ (村野正景・京都文化博物館学芸員)
5. メソアメリカ教育の実践 (多々良穰・東北学院榴ヶ岡高等学校教諭)
6. ディスカッション



## ■第2回参加登録 12月26日(日) <https://forms.gle/XXGgq838iNFahQXHA>

1. ワリとインカ：アンデスにおける帝国をめぐる新たな発見  
(松本雄一・山形大学准教授)
2. 科学で探るアンデス文明 (瀧上舞・山形大学学術研究員)
3. アンデス文化の敷居を低く—門外漢による気楽なマンガ的世界 (芝崎みゆき・画文業)
4. アンデスにおける「遺跡博物館」の成果と課題 ~ペルー・アンコンでの活動経験を中心にして  
(市木尚利・立命館大学環太平洋文明研究センター・プロジェクト研究員)
5. ペルーの台所：食文化からみるペルーの多様性と変化 (佐々木直美・法政大学教授)
6. ディスカッション



マチュピチュ遺跡 ©渡部森哉

古代アメリカ学会

<https://americaantiqua.org/>